

追突事故・バック事故多発

- 車間距離を十分にとりましょう
- バック時は、必ず後方の安全確認を行いましょ

冬の吹雪、積雪、路面凍結は想定内

- 混雑を予測して早めに出発 余裕がないとスリップのもと
- 遠回りしても安全な幹線道路を走る
- 悪天候のときは危険を避け、安全な所に退避

交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意しましょう

労災事故 サイドブレーキが利かなかった

バキュームカーと豚舎に挟まれ死亡

◇『運行前点検』を確実に行いましょう、『水』と『オイル』の点検も忘れずに…◇

2016/12/20(火) 13:57

京都府の養豚場で8月、バキュームカーと豚舎に作業中の男性社員＝当時(37)＝が挟まれて死亡する労災事故があり、労働基準監督署は20日、労働安全衛生法違反の疑いで、会社と男性社長(49)を書類送検した。書類送検容疑は、8月29日、養豚場内で、死亡した男性社員にサイドブレーキが利かないバキュームカーを使用させた疑い。同監督署によると、同日午後6時半ごろ、男性社員が死亡しているのを社長の妻が発見。死因は胸部圧迫による窒息死だった。豚舎の約5メートル先に止めたバキュームカーが坂を下りてきて挟まれたとみられるという。バキュームカーは構内用で車検の必要がなく、18年前から整備をしていなかったという。

気のゆるみ スピード出し過ぎていませんか？

「なれた道・なれた仕事」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁です>

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

土・日・祭日は、部活の小・中・高校生に注意しましょう！

緩やかなカーブ 助手席の荷物を取ろうとしてわき見をした

対向車線にはみ出し 観光バスと衝突 1人けが

2016/12/20 19:42

20日午前9時ごろ、熊本県の国道で観光バスが反対車線を走ってきた乗用車と衝突した。観光バスには運転手や添乗員のほか観光客12人が乗っていたがけが人はいなかった。乗用車を運転していた33歳の男性は頭を打つ軽いけがをした。現場はゆるやかなカーブで、警察では、乗用車を運転していた男性が助手席の荷物を取ろうとしてわき見をしたため中央線をはみだしたのが原因とみて調べている。

4人死傷玉突き トラックの運転手 「わき見していた」

運転手の不注意が事故につながった

◇車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう◇

2016/12/20 18:39

今月16日、大阪府の高速道路の降り口近くで4人が死傷した玉突き事故で、最後尾のトラック運転手が「わき見をしていた」と話していることがわかった。高速道路の降り口近くの府道で高速バスや乗用車など6台がぶつかり、うち4台が炎上。性別不明の1人が死亡し、3人が軽傷を負った。警察の捜査で、渋滞の最後尾の乗用車に3トントラックが追突したことで玉突き事故になったことが判明。トラックを運転していた57歳の男性は、警察の任意の事情聴取に対し「わき見をしていた」「急ブレーキを踏もうとしたら、足がすべってアクセルを踏んでしまった」などと話していることがわかった。警察は運転手の不注意が事故につながったとみている。

午後6時 「前をよく見ていなかった」 ショッピングセンターの駐車場で…はねられ68歳男性死亡

2016/12/20(火) 11:53

18日午後6時半ごろ、千葉県のショッピングセンター駐車場で歩いていた、パートの男性(68)が軽乗用車にはねられた。男性は頭を強く打っており、搬送先の病院で死亡した。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、軽乗用車の会社員の男性容疑者(32)を現行犯逮捕。同署によると、男性は同所で施設管理の仕事をしてきた。容疑者は買い物を終えて帰宅途中だったといい、「前をよく見ていなかった」と供述している。

タクシー酒気帯び運転、駅の待合所で追突、玉突き 運転手を逮捕

2016年12月20日11時34分

タクシーを酒気帯び運転して追突し、相手の運転手にけがをさせたとして、警察は20日、個人タクシー運転手の男性容疑者(63)を道路交通法違反(酒気帯び運転)と自動車運転処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで逮捕し発表した。容疑者は「酒は飲んでいない」と話しているという。署によると、容疑者は19日午後8時半ごろ、酒気を帯びた状態で運転し、岐阜県の駅前のタクシー待合所で待機中だった男性運転手(72)の個人タクシーに追突した疑いがある。玉突きでタクシー計3台がからむ事故になった。